

開催	番	馬名	性	年齢	人	単勝	種牡馬	父母父タイプ名	母の父馬名	母の父タイプ名	母母父タイプ名	タイム
2022	7	イクイノックス	牡	3	1	2.6	キタサンブラック	プリンスリーG系	キングヘイロー	リファール系	グレイS系	1.57.5
良	3	パンサラッサ	牡	5	7	22.8	ロードカナロア	ストームバード系	Montjeu	サドラーズ系	ネヴァーB系	1.57.6
57.4/60.1	5	ダノンベルーガ	牡	3	4	7.3	ハーツクライ	グレイS系	Tizway	インリアリティ系	APインディ系	1.57.7
開催	番	馬名	性	年齢	人	単勝	種牡馬	父母父タイプ名	母の父馬名	母の父タイプ名	母母父タイプ名	タイム
2021	5	エフフォーリア	牡	3	3	3.4	エピファネア	Tサンデー系	ハーツクライ	Tサンデー系	エタン系	1.57.9
良	1	コントレイル	牡	4	1	2.5	ディーブインパクト	リファール系	Unbridled's Song	ファビオノ系	インリアリティ系	1.58.0
60.5/57.4	9	グランアレグリア	牝	5	2	2.8	ディーブインパクト	リファール系	Tapit	APインディ系	ニジンスキー系	1.58.1
開催	番	馬名	性	年齢	人	単勝	種牡馬	父母父タイプ名	母の父馬名	母の父タイプ名	母母父タイプ名	タイム
2020	9	アーモンドアイ	牝	5	1	1.4	ロードカナロア	ストームバード系	サンデーS	サンデーS	ヌレイエフ系	1.57.8
良	6	フィエールマン	牡	5	5	17.4	ディーブインパクト	リファール系	Green Tune	ニジンスキー系	プリンスリーG系	1.57.9
60.5/57.3	7	クロノジェネシス	牡	4	2	4.4	バゴ	ヌレイエフ系	クロフネ	ヴァイスR系	サンデーS	1.57.9
開催	番	馬名	性	年齢	人	単勝	種牡馬	父母父タイプ名	母の父馬名	母の父タイプ名	母母父タイプ名	タイム
2019	2	アーモンドアイ	牝	4	1	1.6	ロードカナロア	ストームバード系	サンデーS	サンデーS	ヌレイエフ系	1.56.2
良	9	ダノンプレミアム	牡	4	3	9.5	ディーブインパクト	リファール系	Intikhab	ロベルト系	デインヒル系	1.56.7
59.0/57.2	5	アエロリット	牝	5	6	20.0	クロフネ	フェアウエイ系	ネオユニヴァース	Dサンデー系	ヌレイエフ系	1.56.7
開催	番	馬名	性	年齢	人	単勝	種牡馬	父母父タイプ名	母の父馬名	母の父タイプ名	母母父タイプ名	タイム
2018	4	レイデオロ	牡	4	2	3.1	キングカメハメハ	ノーザンD系	シンボリクリスエス	ロベルト系	ミスプロ系	1.56.8
良	9	サンダレーザー	牡	4	4	9.6	ディーブインパクト	リファール系	Deputy Minister	ヴァイスR系	ターントウ系	1.57.0
59.7/57.4	10	キセキ	牡	4	6	12.8	ルーラーシップ	グレイS系	ディーブインパクト	ディーブ系	トゥルピヨン系	1.57.0

開催	番	馬名	性	年齢	人	単勝	種牡馬	父母父タイプ名	母の父馬名	母の父タイプ名	母母父タイプ名	タイム
2017	7	キタサンブラック	牡	5	1	3.1	ブラックタイド	リファール系	サクラバクシンオー	プリンスリーG系	ボールドR系	2.08.3
不良	2	サトノクラウン	牡	5	2	4.0	Marju	セントサイモン系	Rossini	ミスプロ系	ミスプロ系	2.08.3
64.2/64.1	8	レインボーライン	牡	4	13	59.6	ステイゴールド	ファイントップ系	フレンチデピュティ	ヴァイスR系	ノーザンT系	2.08.7
開催	番	馬名	性	年齢	人	単勝	種牡馬	父母父タイプ名	母の父馬名	母の父タイプ名	母母父タイプ名	タイム
2016	8	モーリス	牡	5	1	3.6	スクリーンヒーロー	サンデーS	カーネギー	サドラーズ系	リファール系	1.59.3
良	12	リアルスティール	牡	4	7	13.0	ディーブインパクト	リファール系	Storm Cat	ストームバード系	ミスプロ系	1.59.5
60.8/58.5	14	ステファノス	牡	5	6	11.2	ディーブインパクト	リファール系	クロフネ	ヴァイスR系	ミスプロ系	1.59.7
開催	番	馬名	性	年齢	人	単勝	種牡馬	父母父タイプ名	母の父馬名	母の父タイプ名	母母父タイプ名	タイム
2015	8	ラプリーデイ	牡	5	1	3.4	キングカメハメハ	ノーザンD系	ダンスインザダーク	Tサンデー系	グレイS系	1.58.4
良	14	ステファノス	牡	4	10	34.3	ディーブインパクト	リファール系	クロフネ	ヴァイスR系	ミスプロ系	1.58.5
60.6/57.8	16	イスラポニータ	牡	4	6	11.7	フジキセキ	セントサイモン系	Cozzene	カロ系	ミスプロ系	1.58.6
開催	番	馬名	性	年齢	人	単勝	種牡馬	父母父タイプ名	母の父馬名	母の父タイプ名	母母父タイプ名	タイム
2014	4	スピルバーグ	牡	5	5	11.0	ディーブインパクト	リファール系	Lycius	ミスプロ系	サドラーズ系	1.59.7
良	1	ジェンティルドンナ	牝	5	2	4.7	ディーブインパクト	リファール系	Bertolini	ダンチヒ系	リファール系	1.59.8
60.7/59.0	15	イスラポニータ	牡	3	1	2.8	フジキセキ	セントサイモン系	Cozzene	カロ系	ミスプロ系	1.59.8
開催	番	馬名	性	年齢	人	単勝	種牡馬	父母父タイプ名	母の父馬名	母の父タイプ名	母母父タイプ名	タイム
2013	7	ジャスタウェイ	牡	4	5	15.5	ハーツクライ	グレイS系	Wild Again	ニアークティック系	ハイペリオン系	1.57.5
良	9	ジェンティルドンナ	牝	4	1	2.0	ディーブインパクト	リファール系	Bertolini	ダンチヒ系	リファール系	1.58.2
58.4/59.1	6	エイシンフラッシュ	牡	6	3	4.7	King's Best	ティディ系	Platini	ハンプトン系	エタン系	1.58.5

母父に米国型血統を持つ馬が優勝したのは
2013年のジャスタウェイまで遡る事になります。

単系の馬券を買うならば、
父か母父が欧州型の馬をアタマに据えるのが合理的でございます。

過去10年で、ディーブ産駒は未勝利ですが、
11頭を馬券圏内に送り込んでおり、軽視は禁物と申せましょう。

開催	番	馬名	性	齢	体重	人	単勝	間	歴	タイム	2角	3角	4角	上り	順	前走				人	着	脚質	上順	
2022	7	イクイノックス	牡	3	488	1	2.6	22	4	1.57.5	10	10	9	32.7	1	G1	東京	芝	2400	良	2	2	追込	1
良	3	パンサラッサ	牡	5	472	7	22.8	10	23	1.57.6	1	1	1	36.8	15	G2	札幌	芝	2000	良	2	2	逃げ	11
57.4/60.1	5	ダノンベルガ	牡	3	500	4	7.3	22	4	1.57.7	11	11	11	32.8	2	G1	東京	芝	2400	良	1	4	差し	3
開催	番	馬名	性	齢	体重	人	単勝	間	歴	タイム	2角	3角	4角	上り	順	前走				人	着	脚質	上順	
2021	5	エフフォーリア	牡	3	514	3	3.4	22	5	1.57.9	6	6	6	33.2	3	G1	東京	芝	2400	良	1	2	差し	1
良	1	コントレイル	牡	4	464	1	2.5	30	9	1.58.0	9	8	8	33.0	1	G1	阪神	芝	2000	重	1	3	マク	4
60.5/57.4	9	グランアレグリア	牝	5	504	2	2.8	21	13	1.58.1	2	2	2	33.8	9	G1	東京	芝	1600	良	1	2	追込	1
開催	番	馬名	性	齢	体重	人	単勝	間	歴	タイム	2角	3角	4角	上り	順	前走				人	着	脚質	上順	
2020	9	アーモンドアイ	牝	5	490	1	1.4	21	13	1.57.8	3	3	4	33.1	3	G1	東京	芝	1600	稍	1	2	追込	3
良	6	フィエールマン	牡	5	478	5	17.4	26	10	1.57.9	10	9	10	32.7	1	G1	京都	芝	3200	良	1	1	差し	1
60.5/57.3	7	クロノジェネシス	牝	4	464	2	4.4	18	11	1.57.9	8	9	9	32.8	2	G1	阪神	芝	2200	稍	2	1	先行	1
開催	番	馬名	性	齢	体重	人	単勝	間	歴	タイム	2角	3角	4角	上り	順	前走				人	着	脚質	上順	
2019	2	アーモンドアイ	牝	4	480	1	1.6	21	9	1.56.2	5	6	5	33.8	2	G1	東京	芝	1600	良	1	3	差し	1
良	9	ダンブルミアム	牡	4	508	3	9.5	21	8	1.56.7	5	5	3	34.5	7	G1	東京	芝	1600	良	2	16	中団	16
59.0/57.2	5	アエロリット	牝	5	516	6	20.0	3	17	1.56.7	1	1	1	34.8	10	G2	東京	芝	1800	良	2	2	逃げ	7
開催	番	馬名	性	齢	体重	人	単勝	間	歴	タイム	2角	3角	4角	上り	順	前走				人	着	脚質	上順	
2018	4	レイデオロ	牡	4	482	2	3.1	5	10	1.56.8	6	5	5	33.6	2	G2	中山	芝	2200	良	1	1	差し	1
良	9	サングレーザー	牡	4	476	4	9.6	10	15	1.57.0	7	7	7	33.4	1	G2	札幌	芝	2000	稍	2	1	差し	4
59.7/57.4	10	キセキ	牡	4	496	6	12.8	3	12	1.57.0	1	1	1	34.7	8	G2	東京	芝	1800	良	6	3	先行	8

開催	番	馬名	性	齢	体重	人	単勝	間	歴	タイム	2角	3角	4角	上り	順	前走				人	着	脚質	上順	
2017	7	キタサンブラック	牡	5	542	1	3.1	18	17	2.08.3	11	5	2	38.5	1	G1	阪神	芝	2200	稍	1	9	先行	9
不良	2	サトノクラウン	牡	5	498	2	4.0	18	14	2.08.3	7	2	2	38.6	2	G1	阪神	芝	2200	稍	3	1	差し	1
64.2/64.1	8	レインボーライン	牡	4	452	13	59.6	18	17	2.08.7	10	12	5	38.7	4	G1	阪神	芝	2200	稍	7	5	中団	5
開催	番	馬名	性	齢	体重	人	単勝	間	歴	タイム	2角	3角	4角	上り	順	前走				人	着	脚質	上順	
2016	8	モーリス	牡	5	514	1	3.6	10	16	1.59.3	5	5	4	33.8	4	G2	札幌	芝	2000	稍	1	2	差し	1
良	12	リアルスティール	牡	4	502	7	13.0	21	10	1.59.5	8	10	10	33.5	1	G1	東京	芝	1600	良	2	11	先行	11
60.8/58.5	14	ステファノス	牡	5	486	6	11.2	3	18	1.59.7	13	14	14	33.5	1	G2	東京	芝	1800	稍	2	5	中団	5
開催	番	馬名	性	齢	体重	人	単勝	間	歴	タイム	2角	3角	4角	上り	順	前走				人	着	脚質	上順	
2015	8	ラブリーデー	牡	5	486	1	3.4	3	24	1.58.4	4	4	4	33.7	6	G2	京都	芝	2400	良	1	1	差し	1
良	14	ステファノス	牡	4	474	10	34.3	3	13	1.58.5	8	8	12	33.4	1	G2	東京	芝	1800	良	6	7	後方	2
60.6/57.8	16	イスラポニータ	牡	4	476	6	11.7	3	12	1.58.6	12	11	10	33.6	4	G2	東京	芝	1800	良	7	3	差し	8
開催	番	馬名	性	齢	体重	人	単勝	間	歴	タイム	2角	3角	4角	上り	順	前走				人	着	脚質	上順	
2014	4	スビルバーグ	牡	5	506	5	11.0	3	12	1.59.7	13	14	12	33.7	1	G2	東京	芝	1800	良	5	3	差し	2
良	1	ジェントイルドンナ	牝	5	470	2	4.7	18	16	1.59.8	3	3	3	34.4	8	G1	阪神	芝	2200	良	3	9	中団	8
60.7/59.0	15	イスラポニータ	牡	3	474	1	2.8	6	8	1.59.8	3	3	3	34.4	8	G2	新潟	芝	2200	良	1	1	差し	6
開催	番	馬名	性	齢	体重	人	単勝	間	歴	タイム	2角	3角	4角	上り	順	前走				人	着	脚質	上順	
2013	7	ジャスタウェイ	牡	4	496	5	15.5	3	15	1.57.5	11	10	9	34.6	1	G2	東京	芝	1800	良	6	2	差し	1
良	9	ジェントイルドンナ	牝	4	470	1	2.0	18	11	1.58.2	2	2	2	35.8	3	G1	阪神	芝	2200	良	1	3	先行	4
58.4/59.1	6	エイシンフラッシュ	牡	6	488	3	4.7	3	25	1.58.5	8	9	10	35.5	2	G2	東京	芝	1800	良	4	1	先行	3

【距離実績の傾向】

天皇賞秋はマイル重賞でも勝ち負けできるようなスピードが問われます。

過去の3着以内馬には、1800m以下の重賞で3着以内か2000m重賞に勝鞍がありました。

これは天皇賞春の勝ち馬の場合も例外ではなく、

- ・フィエールマン:1800m重賞2着
- ・キタサンブラック:1800m重賞勝ち
- ・レインボーライン:1600m重賞勝ち

このように、1800m以下の重賞に実績を持っていました。

今年は天皇賞春勝ち馬ジャスティンパレスが出ておりますが、彼には2000m重賞勝ち鞍が無く、スピード不足を露呈する可能性を秘めております。

また、東京芝コースの重賞で3着以内の実績があった馬が馬券になりやすいレースでもあります。

【東京芝2000m 種牡馬別成績 2020年～2023年(勝率順)】

種牡馬	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
モーリス	11- 8- 4- 28/ 51	21.6%	37.3%	45.1%	79	97
キタサンブラック	6- 5- 2- 17/ 30	20.0%	36.7%	43.3%	57	91
ハーツクライ	15- 14- 16- 91/136	11.0%	21.3%	33.1%	58	56
ディープインパクト	16- 26- 18-118/178	9.0%	23.6%	33.7%	36	63
ロードカナロア	5- 11- 10- 42/ 68	7.4%	23.5%	38.2%	25	90
ルーラーシップ	4- 5- 8- 56/ 73	5.5%	12.3%	23.3%	21	52

ハーツクライ産駒の重賞成績

コース	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
東京2000m	1- 3- 1- 34/ 39	2.6%	10.3%	12.8%	39	24
東京2400m	7- 6- 5- 61/ 79	8.9%	16.5%	22.8%	84	56

2023天皇賞秋 全頭診断

馬番	馬名	父(系統)	母父(系統)
1	ノースブリッジ	モーリス(欧ロベルト系)	アドマイヤムーン(欧フォーティN系)
2	エヒト	ルーラーシップ(欧キングマンボ系)	ディーピンパクト
3	ドウデュース	ハーツクライ(Tサンデー系)	Vindication(米ポールドR系)
4	ダノンベルーガ	ハーツクライ(Tサンデー系)	Tizway(米インリアリティ系)
5	ガイアフォース	キタサンブラック(Tサンデー系)	クロフネ(米ヴァイスリージェント系)
6	ジャスティンパレス	ディーピンパクト	Royal Anthem(欧ヌレイエフ系)
7	イクイノックス	キタサンブラック(Tサンデー系)	キングヘイロー(欧リファール系)
8	ヒシイグアス	ハーツクライ(Tサンデー系)	Bernstein(米ストームバード系)
9	プログノーシス	ディーピンパクト	Observatory(欧ミスプロ系)
10	ジャックドール	モーリス(欧ロベルト系)	Unbridled's Song(米ミスプロ系)
11	アドマイヤハダル	ロードカナロア(欧キングマンボ系)	ディーピンパクト

【1番ノースブリッジ】

昨年は11人気11着と人気通りの結果でした。

モーリス産駒はコース適性が高いのですが、

本馬の場合、馬券に絡んだ重賞が全て非根幹距離。

ちなみに拙者のマイ注目馬「非根幹距離」登録馬でございます。

タイプ的にも、内枠が苦手な先行馬。

今回はお見送りが妥当だと考えております。

次走以降に非根幹距離で、中枠～外枠に入ったら

全力で買いたいと思います。

【2番エヒト】

ルーラーシップにディーピンパクトの肌馬。

これは、キセキと同じ配合ですが・・・

この馬は、右回りで6勝、左回りは未勝利の典型的な「右利き」でございますな。

加えて、好走重賞が小回りと中山。

今回はお見送りが妥当だと考えております。

【3番ドウデュース】

母父も祖母父も米国型血統のハーツクライ産駒。

母父が米国型のハーツクライ産駒ジャスタウエイの例がありますので、全否定は致しませんが、成長力と言う部分では、欧州血統が濃いイクイノックスにはどうしても劣ると言うのが血統上の判断になります。

G1朝日杯を勝っており、スピード不足は考えられませんが、ダービー以降の成長力で、イクイノックスを上回っている可能性は・・・？

とは言え、他の馬達に後れを取るとすれば、超前有利馬場で、なおかつ前残り展開に泣いた場合くらいのものでしょうか。
(可能性はあると思っております)

【4番ダノンベルーガ】

ドウデュース同様に、母父、祖母父が共に米国型血統。

昨年の3着は、ある意味パンサラッサのお陰。
今年は、昨年のような消耗戦は考えにくく、
昨年以降に、相当な成長が無ければ、あっても3着。

菊花賞で消した馬を2着に持って来てしまったモレイラ様は恐いですが、そのモレイラ様が乗っても勝てなかった馬。

押えにいれるかどうか、誠に微妙なところでございます。

【5番ガイアフォース】

イクイノックスと同じキタサンブラック産駒。
母父は米国型クロフネでございますが、
祖母が比較的欧州寄りの配合でございます。

距離適性がどこにあるのか分かりづらいタイプですが、

拙者個人としては、キャリア唯一の東京G1である
安田記念で、マイルG1馬4頭を相手に、
2着馬とタイム差無し4着と言う惜敗に
大きな価値を感じております。

秋天は、マイラーが走りやすいレースでもあり、
高速馬場の東京なら、母父クロフネの血が活きる
と言う可能性は十分にございますな。

2000mであれば好位から競馬が出来そうで、
今年の先行勢手薄＋小頭数であれば、
ジャックドールとセットで、前で残るかも知れませぬ。

【6番ジャスティンパレス】

ディープインパクト×欧ND系の配合で、
血統の字面からは買いでございます…が、
この馬は、スタミナが活きる条件で、
メンバー上位の上りを使えるタイプでございます。

決して、高速馬場の東京中距離G1で
33秒台上りを使って勝ち負け、というタイプには見えません。

一流の「高速上り型」に交じって上位争いを
期待するのは酷なお話でございましょう。

お見送りさせていただきます。

【7番イクイノックス】

特に書く事はございません。
ルメール殿が「勝つ自信アリマス。大丈夫(^_^)」
と言っておりますので、大丈夫なのでしょう。

この馬から単系の馬券を組む予定です。

【8番ヒシイグアス】

ハーツクライと米国型ND系の配合で、
外回りコースに良さそうな血統馬ですが、

実際には内回り巧者の非根幹距離タイプで
持続力勝負が本領でございます。

昨年の宝塚記念ではお世話になりましたが、
ここではお見送りが妥当と考えております。

【9番プログノーシス】

ディープインパクトに英国牝系(母父欧ミスプロ系)の配合馬。

牝系の距離適性は1200~1400mと短く、
それが、直線スピードの強化に働いたイメージ。

東京に出走経験がなく、
高速馬場にも殆ど出走しておりませんので、
取捨の判断が難しい所ですが・・・
ディープ産駒で馬券に絡むとすればコチラでしょう。

前走の非常に力が必要な兩馬場の洋芝を圧勝した事と、
2走前に香港のG1クイーンエリザベス2000mで
2分2秒2で2着したことが、高速決着への不安材料と
なりますが、2勝クラスに昇級後は、常に上り最速をマークしており、
上り時計も33秒台前半を3戦連続で繰り出しております。

ですので、やってみたら「高速馬場OKやったわ」
てな事もあり得る事で、人気は気に入りませんが、
押さえるしかないかと考えております。

【10番ジャックドール】

モーリスに母父大系統ミスプロ系の配合は、
母父大系統サンデー系との配合よりもコース相性は上。

【6・1・0・8/15】

勝率40% 単回率142%

昨年4着に敗れた事と、安田記念で5着に負けた事で
東京では後ろからやっつけられると思われていそうですが、
血統的には他のどのメンバーより適性が高い存在。

昨年の4着はペースが過酷であった事。

安田記念5着も、昨年の天皇賞秋とほぼ同じ
前半1000m通過が57秒台の展開で、
初めてのマイルG1としては、2着馬に0秒1差なら、
メンバーの質も合わせて大健闘の5着と言えましょう。

今年は逃げ馬が不在のうえ、過去10年で最小頭数開催。
馬場のバイアスは現段階では不明ですが、
展開的には、昨年の当レースや安田記念よりも
はるかに楽になるであろうと予想しております。

金鯱賞をレコードタイムで逃げ切った実績と、
高速馬場だった当コースで、3勝クラスとOPLを
連勝しているように、前走や香港での大差負けは
馬場が原因だと考えるべきでしょう。

イクイノックスに勝てる程強いとは考えておりませんが、
展開を味方にした2着ならあると思います。

【11番アドマイヤハダル】

配合相手の特性を引き出しやすい
ロードカナロアが父で、その配合相手が
ディープインパクトとなれば、完全無視は
危険な配合とも申せましょう。

ただ、東京のOP、重賞では
馬券圏内にあと一步届いておらず、
逆に内回りコースの重賞で2度の3着、
皐月賞でも4着の実績があり、本質的には
内回りタイプの馬なのかも知れませんな。

それでも前走の毎日王冠で、ソングラインと
シュネルマイスターにハナ差・アタマ差という競馬を
観てしまいますと、ちょっとだけスケベ根性が
首をもたげて参ります。

馬券に入れるかどうかは、オッズを見てから(*_*)